

収穫、乾燥、調製について

登熟の向上と上位等級米の確保を!

後期管理の要点は

- (1) 稲体の機能低下を防ぎ
- (2) 病害虫やヒエ、根ぐされや倒伏などの障害を防いでいる
- (3) 登熟を良好にし、きれいな米づくりをすることです。

- (1) 登熟期の水管理の要點は、土壌を酸化的に保ち、必要な水分(栄養)を与える
- (2) 登熟期落水を徹底する。
- (3) 作業を適確に、計画的にすめなければなりません。

- (1) 水管理の適正
- (2) 落水適期は、気温や他の諸条件や稲の生育状態により決めるが、ふつう出穂後二十日から調製、出荷までの諸収穫から調製、出荷までの諸収穫

- (1) 登熟期落水を徹底する。
- (2) 落水適期は、気温や他の諸条件や稲の生育状態により決めるが、ふつう出穂後二十日から調製、出荷までの諸収穫

稲作の後期管理

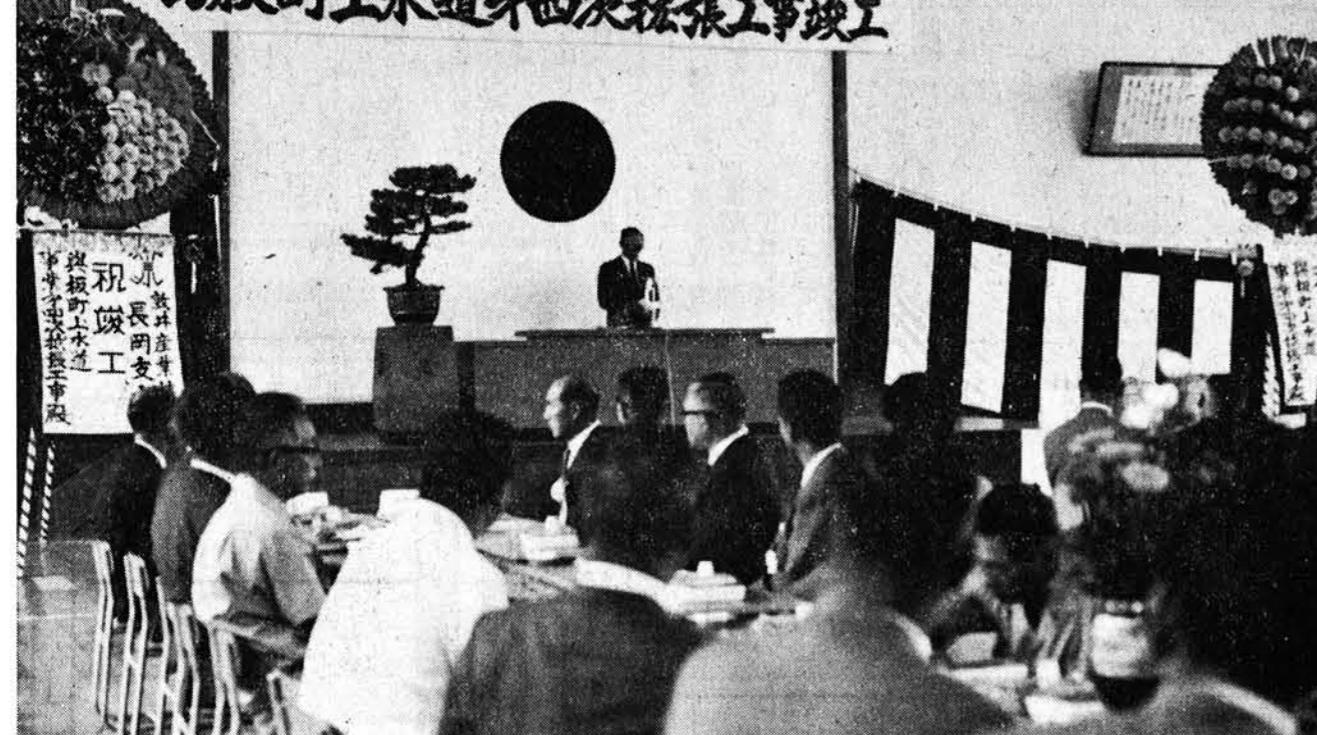
度に時おり走り水をかける

落水時期は、稲の登熟と

落水適期は、氣温や他の諸条件や稲の生

育状態により決

められるが、ふつう出穂後二十日から調製、出荷までの諸収穫



とじて保存して下さい

水道施設拡張・改良工事が完了 喜こびの竣工式

7月27日多数の来賓を、お迎えして水道施設の拡張・改良工事完了を祝う竣工式を行いました。永年悩まされた、赤い水、水不足がこのことにより一挙に解決されたわけですが、これも町民、皆様の御協力のおかげと厚く御礼申し上げます。

人口の動き

7月31日現在

()は6月末との比較	
人口	8,004人 (+ 7人)
男	3,884人 (+ 7人)
女	4,120人 (- 0人)
世帯	1,805 (- 1)
出生	12人
転入	9人
死亡	1人
転出	13人

昭和四十五年度

一般会計決算の公表	2・3
国保会計決算	4
上水道会計決算	4
八月に初の支払	5
与板の歴史をたずねて	5
稻作の後期管理	6

おもな内容は

一般会計支出

議会費	総務費	民生費
1,000万円	5,103万円	1,962万円
衛生費	農林水産費	商工費
1,872万円	818万円	1,864万円
土木費	消防費	教育費
3,204万円	1,667万円	3,311万円
公債費	諸支出金	
1,741万円	531万円	

昭和45年度の財政

1,186万9千円

町民の皆さんの御協力

の運営費、議員報酬、調査研究のための旅費、議会職員の給与等が主なもので、その経費が一千万七千円で全体の四・二%となっています。

民生費 保育児童の措置費、保育所の管理及び運営費、

農林水産費 農業委員会の運営費

商工費 中軸として、商工振興を

土木費 土木費の総額は三千二百四十万円で、全体の十三・七%を占めています。

公債費 行なうためには、

諸支出金 町が事業を

消防費 常備、非常備消防費、防

教育費 火水槽の設置費、消防栓工事費等であります。特に四十

歳以下の子供たちの安全と、

商工費 中軸として、商工振興を

土木費 土木費の総額は三千二百四十万円で、全体の十三・七%を占めています。

公債費 行なうためには、

諸支出金 町が事業を

消防費 常備、非常備消防費、防

教育費 火水槽の設置費、消防栓工事

費等であります。特に四十

歳以下の子供たちの安全と、

商工費 中軸として、商工振興を

土木費 土木費の総額は三千二百四十万円で、全体の十三・七%を占めています。

公債費 行なうためには、

諸支出金 町が事業を

消防費 常備、非常備消防費、防

教育費 火水槽の設置費、消防栓工事

費等であります。特に四十

歳以下の子供たちの安全と、

商工費 中軸として、商工振興を

土木費 土木費の総額は三千二百四十万円で、全体の十三・七%を占めています。

公債費 行なうためには、

諸支出金 町が事業を

消防費 常備、非常備消防費、防

教育費 火水槽の設置費、消防栓工事

費等であります。特に四十

歳以下の子供たちの安全と、

商工費 中軸として、商工振興を

土木費 土木費の総額は三千二百四十万円で、全体の十三・七%を占めています。

公債費 行なうためには、

諸支出金 町が事業を

消防費 常備、非常備消防費、防

教育費 火水槽の設置費、消防栓工事

費等であります。特に四十

歳以下の子供たちの安全と、

商工費 中軸として、商工振興を

土木費 土木費の総額は三千二百四十万円で、全体の十三・七%を占めています。

個人事業税1期分の納期限は8月31日です

お忘れなく最寄りの銀行郵便局又は財務事務所窓口に
お納め下さい。

状況を公表します

の黒字額を計上
に感謝申し上げます

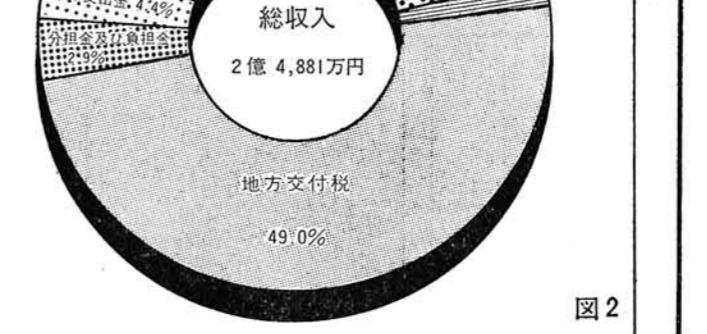
収入の四九%が
地方交付税

収入総額
2億4,881万円

百三十六万一千円の増となりました。しかし、この中では町民税の税率を四十五年度より国で定めた標準税率に引き下げたため、例年では自然増えあります。逆に二百二十万円の減となりました。また、タバコ消費税は九百六十円を超えており町の大好きなタバコは町の販売店でお求め下さい。

次が諸収入です。この中では産業育成資金七百万円の貸付金の回収と、その他、雑入と設備近代化資金七百万円の貸付金が含まれて、全収入の七・二%となつております。この他、国県支出金、財産比して特記すべき事項があります。

議会費 町の議決機関である議会で三・五%を占めておりま



昭和四十五年度は、農業経営に対する課題があり、主要産業である金物産業では成立率が鈍化するという、きびしい財政状況の中ありました。しかし、この中にあって、公共事業を始め、産業の振興、住民福祉の向上、教育施設の充実について急速に近代化が必要とされ、行政水準の向上を要請されていました。前年度に引き続き一千万円を超える黒字が生じたということは議会を始め、町民の皆さんの御理解ある御協力の賜ものと厚く御礼申し上げます。

今後、当町では多額の財源を必要とする事業が山積しておりますのでその財源に充当することが出来るよう十分に検討し効率的な運用をしたいと思います。

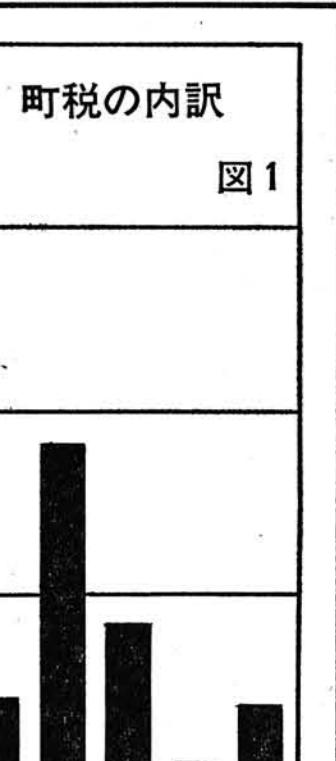


図1 町税の内訳

図2 収入の内訳

